

己自身を高め 勝利を掴む

「スポーツフェスタたがわ」が郡内各地で開かれ、福智勢が鍛錬の成果を発揮し各種目で活躍しました。目標に向け、チーム一丸となって己の限界に挑戦した福智のアスリートたち。ここでは結果をお知らせします。

バドミントン 香春町民体育館

- 総合【2位】福智町
- 一般男子(シングルス)【3位】中村 亮二
(ダブルス)【優勝】西村 厚輝・松永 紘征
- 壮年男子(ダブルス)【優勝】石谷 憲昭・香川 二郎
【3位】西村 勇二・林 秀明

登山 求菩提山

- 福智町参加 20人

硬式テニス 添田屋内競技場

- 総合【優勝】福智町
- 男子A組(ダブルス)【3位】桑畑 広幸・吉永 義幸
- 男子B組(ダブルス)【優勝】村上 集・海蔵寺 善徳
【3位】甲斐 大輔・西山 博司
- 男子C組(ダブルス)【優勝】沼口 康之・沼口 大希
【3位】木村 晋作・安武 裕貴
- 女子(ダブルス)【2位】甲斐 由美・沼口 桃花

卓球 川崎町民会館

- 団体【優勝】福智町
- 一般男子【優勝】日高 景年 【3位】石松 勇輝
- 一般女子【優勝】井倉 知子
- ベテラン男子【優勝】中西 秋雄



弓道 香春町弓道場

- 総合【2位】福智町
- 一般男子(近的)【2位】福智町
- 一般女子(近的)【2位】福智町

剣道 福智町体育センター

- 総合【3位】福智町
- 団体戦一般男子【3位】福智町
- 団体戦青年男子【2位】福智町
- 個人戦一般男子(初段~三段)【3位】澤田 滋
- 個人戦一般男子(六段~七段)【3位】秦 伸輔



インディアカ 添田町体育館

- 総合【2位】福智町
- 一般男子【優勝】福智町

グラウンドゴルフ 大任町民グラウンド

- 団体【3位】福智町

ゲートボール 福智町屋内競技場

- 【優勝】福智町(赤池チーム)
【2位】福智町(金田チーム)

バスケットボール 福智町金田体育館

- 女子【優勝】福智町

ソフトボール 添田町サン・スポーツランドグラウンド

- 壮実年【優勝】福智町



福智の風

▼憧れの職業を前に、目を輝かせる子どもたちの横顔が印象的だった「のりものフェスタ(P1-3)」。ファイダー越しに私の幼い頃を重ねていました。当時、私が憧れていた職業はマッサージ師。癒やしや安らぎを与える人になりたかったのでしょう。今はパソコンとのらめっこで、肩や腰が凝る一方。癒やすどころか、癒やされたいと願う毎日です。(相原)

▼記事の参考にするため、過去の広報紙を読み返す機会が増えたのですが、ちらほらと自分の姿が紙面に掲載されていて、見つける度にちょっと照れてしまいます。広報担当になっているあたりは、自分の姿が載ることはないだろうな...と思いきや、今月号にも後ろ姿だけ登場しています。さて、どこにいるでしょう?(ヒントは青いTシャツです)(荒牧)

写真が語る
な丸の 写真館

鉄道模型で遊ぶ少年
提供者●香月 久生さん
撮影日●昭和30年頃

日本の鉄道模型の歴史は幕末、ペリーたちが幕府の役人の前で実演走行した蒸気機関車模型がルーツ。戦後は趣味として普及し、子どもから大人まで今なお広く愛され続けています。

昔の写真を探しています!
岡 総務課広報・広聴係
☎22-0555

高齢者大学・はな句会
池田一歩選

涼風に歩く健脚未だ少し
白木槿今日といふ日を凛と咲き
夏霧の御簾の如くに普賢岳
鯨の跳ねはせぬかや梅雨の雷
新しき傘に弾けてさみだるる
沐浴にギヤラリー多し梅雨晴間
水田の主の如くに泥鰌かな
習慣の卒寿過ぎるて梅漬ける
折からの夏日に負けず球児たち

永末 公恵
日高八重子
松本 三男
山本ひろし
香月 眸
高津 澄子
千手 弘子
熊谷カツミ
井上タミ子

福智町金田公民館俳句教室
岩井鬼童選

日に星に焦がれし色の麦を刈る
宿坊の光る煤竹山法師
行水や七つ頭にも四人の子
天辺にいつも風ある今年竹
糠床を混ぜて終はりぬ夕薄暑
風鈴の音に寄り添ひ眠る
想ひ出は心の宝更衣
騒動す母の嫌ひな油虫
紫陽花に憂ひ重ねて午後となる
サンングラスかけて他人の心地かな

建部三由紀
今井三千代
仲谷ひろえ
松岡 蒿枝
長副美恵子
西田 真美
小川 雪
岩井ひさ幸
桂 啓子
山本 空木

方城句会
池田一歩選

夕管やまがきの上に星ともる
毛虫這ふ時の流れて静心
バス待つ間入道雲に語りかけ
声紋を波紋としたる牛蛙
蚤の市老健の夏夏帽子
夫病みて食卓広し冷やっこ
雷光の一瞬の間に妻の影
雷神に一喝されて飛び起きぬ
色形よって届けるトマトかな

尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冴子
藤井耿之介
渡邊 一枝
有川 信子

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

一斉に湧いては消ゆる螢火のさながら光のオーケストラよ
七夕の近づき折紙ととのへる幼のようにはづませ
きそうごとと小さき手をたたく園児たち絵本読み終えし吾を称えて
「官兵衛」の傷を癒やせし「有馬の湯」吾も術後の脚を浸さん
鏡のなか母によく似し吾のおり傘のころの亡母偲ぶる
ホスピスに極まる命のいとしかり見舞の花籠部屋ごと溢るる
遣伝子を解きあかしたる記事のあり他の惑星に適応できると
閉山の倉庫の煉瓦の壁を這ひ驚はしは仲びゆき屋根を覆へり

高村 三也
桑野 昭子
八代 範夫
村上 美幸
福田キヨ子
三村 和子
前田 信子
福田 昌